

平成15年10月21日

各位

会社名 株式会社 クラレ
代表者名 取締役社長 和久井 康明
コード番号 3405 上場取引所 東証・大証第一部
問合せ先 IR・広報部長 前田 公平
TEL . 03 - 3277 - 3100

中間業績予想の修正および特別損失の主な内容について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成15年5月13日の決算発表時に公表した中間業績予想の修正および特別損失の主な内容につき、下記の通りお知らせします。

記

1. 平成16年3月期中間連結業績予想数値の修正（平成15年4月1日～平成15年9月30日）
（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成15年5月13日発表)	165,000	12,000	11,000	6,000
今回修正予想(B)	161,000	13,500	12,000	8,000
増減額(B-A)	4,000	+1,500	+1,000	+2,000
増減率	2.4%	+12.5%	+9.1%	+33.3%
前期(平成15年3月中間期)実績	158,155	11,522	9,950	3,615

2. 平成16年3月期中間単独業績予想数値の修正（平成15年4月1日～平成15年9月30日）
（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成15年5月13日発表)	98,000	5,500	7,000	4,000
今回修正予想(B)	93,000	6,800	7,400	4,900
増減額(B-A)	5,000	+1,300	+400	+900
増減率	5.1%	+23.6%	+5.7%	+22.5%
前期(平成15年3月中間期)実績	96,731	5,409	6,163	2,188

3. 修正の理由および特別損失の主な内容

(1) 修正の理由

当中間期は、ポバール、「エバール」、メタクリル樹脂および人工皮革の売上・収益が順調に伸び、全体として前回予想を上回る増益見通しとなりました。一方、厳しい事業環境下にあるその他の繊維事業や、SARSの影響を受けたオプト事業等については売上高が前回予想を下回りました。

(2) 特別損失の主な内容

当中間決算(単独)の特別損失として、子会社株式評価損失等約25億円を計上する予定です。
(上記の修正予想に織込み済み)

注) 上記の予想は、本資料の発表日現在における諸前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記の確定数値および通期業績予想につきましては、11月12日に予定している中間決算発表時に発表します。

以上